

適ドア適所®

電気を使わない自動ドア 推奨導入箇所ガイド

「電気式自動ドア」と共存しながら社会課題を解決する。

① 防災・BCP

② 安全対策

③ SDGs・脱炭素

④ UD設計

⑤ コスト削減

コンセプト — 適ドア適所® とは

電気式自動ドア が適した場所

- ✓ 人通りが多いメインエントランス
- ✓ 高頻度・高速通行が必要な場所
- ✓ 大型ショッピング施設の正面入口
- ✓ 公共交通機関の改札周辺

共存

電気を使わない自動ドア が適した場所

- ✓ 災害・停電時にも機能が必要な場所
- ✓ 子どもや高齢者が多く使う施設
- ✓ SDGs・脱炭素を推進する施設
- ✓ BCP対策が求められる公共施設

電気を使わない自動ドアが提供する 5つの価値

①

防災・BCP対策

停電時でも継続利用可能。
避難経路・施設機能を維持。

②

安全対策

子どもの飛び出し事故防止。
ゆっくり開閉で安心設計。

③

SDGs・脱炭素

自動ドア電力ゼロ。
CO₂排出量削減に直結。

④

UD設計

誰もが使いやすい施設。
障害者差別解消法に対応。

⑤

維持管理コスト削減

電気代・モーター交換費用
が不要。ランニング低減。

防災・BCP対策 / 安全確保

No.1 風除室入口

目的：災害対策・BCP対策

停電時でも開閉可能。避難経路を確保しながら冷暖房効率を維持。

対象：庁舎・病院・福祉施設・商業施設・学校

No.2 授乳室入口

目的：安全確保

停電時でも機能し、乳幼児を抱えた利用者の閉じ込めリスクを軽減。

対象：商業施設・公共施設・病院・駅舎

No.3 キッズスペース入口

目的：飛び出し事故防止

電気式とは異なりゆっくり開くため、小さなお子様の飛び出し防止に有効。

対象：商業施設・病院・公共施設

No.4 保育園・幼稚園出入口

目的：園児安全確保

園児の飛び出し事故防止。不審者侵入対策としても有効。

対象：保育園・幼稚園・認定こども園

高齢者・医療・避難所 施設への対応

No.5 高齢者施設入口

■ 目的

バリアフリー化

■ 効果

高齢者・車椅子利用者の通行負担を軽減。
停電時も継続利用が可能。

■ 対象施設

介護施設・老人ホーム・デイサービス

高齢化社会・UD

No.6 病院・クリニック入口

■ 目的

感染症対策・BCP

■ 効果

非接触による利便性向上。停電時でも出入口機能を維持。

■ 対象施設

病院・クリニック・健診センター

感染症・BCP

No.7 避難所指定施設

■ 目的

災害時機能維持

■ 効果

停電時でも出入口を確保。避難者受け入れ体制の強化に貢献。

■ 対象施設

学校・体育館・公民館

防災・国土強靱化

公共施設・商業施設・SDGsへの貢献

No.8 自治体庁舎

停電時でも行政機能を維持。
避難所運営拠点として活用可能。

行政BCP・防災

No.9 商業施設

自動ドア電力を削減し
CO₂排出量削減に貢献。

SDGs・GX

No.10 公共施設（図書館等）

誰もが利用しやすい施設づくり。
合理的配慮・UD対応。

障害者差別解消法

No.11 駅舎・交通施設

停電時でも通行可能。
維持管理コストも削減。

レジリエンス・脱炭素

No.12 SDGsモデル施設

電力ゼロの設備として
環境経営を可視化・PR可能。

ESG・GX・企業PR

その他、ご要望の
施設・用途にも対応。
お気軽にご相談ください。

まとめ — 設計への取り入れ方

STEP 1

出入口の種類と用途を整理する

主要エントランス／風除室／専用出入口などに分類し、それぞれの利用状況を把握。

STEP 2

BCP・安全要件を確認する

停電時の機能維持が必要か、子ども・高齢者・障がい者が主な利用者かを確認。

STEP 3

適ドア適所®で振り分ける

要件に応じて「電気式」「電気不使用式」を選定。共存設計でコストと安全を両立。

STEP 4

Newton プラスへ相談・仕様確定

施設規模・開口サイズ・意匠に合わせた製品選定・施工図作成をサポートします。